

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、ご利用いただきたくご案内いたします。

当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

敬白

### 記

■ 実施日 2018年5月1日(火) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6572 2	HTLV-1抗体 5F460-0000-023-833	血清 0.2	S09 ↓ A00 (X)	冷蔵 (28日)	3~5	425 ※5	ラインプロット法 (LIA法)	陰性 判定基準： 次頁参照	測定対象は、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体です。型別の報告ではありません。

※5：免疫学的検査判断料

## ● HTLV-1抗体〔ラインプロット法〕

HTLV-1感染の診断補助に、判定保留率の低減が期待される新しい確認検査です。

ヒトT細胞白血病ウイルスI型（HTLV-1）は成人T細胞白血病（ATL）やHTLV-1関連脊髄症（HAM）等の起因ウイルスであり、HTLVキャリアの大部分は抗HTLV-1抗体を保有しています。HTLV-1抗体検査は、ATL、HAMの診断補助や、母子感染などの感染防止を目的としたキャリア検出に重要な役割を果たしています。

HTLV-1抗体検査は、一次検査としてPA法やCLEIA法が用いられ、陽性が確認された場合に、ウエスタンプロット法（WB法）による確認検査が行われています。WB法の結果により判定が確定されますが、判定保留率が10～20%と高いことが問題となっています。

本項目は、ラインプロット法により、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体を検出する定性検査です。WB法と同様、一次検査での陽性例に対する確認検査として、新たに保険適用となりました。現状のWB法に比べ、判定保留率が低減することが期待されています。

### ▼ 疾患との関連

成人T細胞白血病（ATL）  
HTLV-1関連脊髄症（HAM）

### ▼ 関連する主な検査項目

HTLV-I（ATLV）抗体〔PA, CLEIA〕  
HTLV-1核酸検出（妊婦）

### ▼ 検査要項

検査項目名	HTLV-1抗体
項目コードNo.	6572 2
検体量	血清 0.2 mL
容器	S09 → A00 (X) ポリスピッツ
保存方法	冷蔵保存してください
所要日数	3～5日
検査方法	ラインプロット法（LIA法）
基準値	陰性 判定基準：下記参照
検査実施料	425点（「D012」感染症免疫学的検査「49」）
判断料	144点（免疫学的検査判断料）
備考	測定対象は、抗HTLV-1抗体および抗HTLV-2抗体です。型別の報告ではありません。

### ▼ 判定基準

ラインが認められない		陰性
ラインが1本認められる（ $\geq \pm$ ）	gag p19 か gag p24 か env gp46 のいずれかが認められる	保留
	env gp21 が認められる	
ラインが2本認められる（ $\geq \pm$ ）	env gp21 が認められない	陽性
	env gp21 が認められる	
ラインが3本以上認められる（ $\geq \pm$ ）		

### ● 参考文献

Zrein M, et al : Clin Diagn Lab Immunol 5 (1) : 45～49, 1998. (検査方法参考文献)  
Umeki K, et al : Clin Lab 63 (2) : 227～233, 2017. (臨床的意義参考文献)